

日サ協発第 200060 号
2020 年 5 月 14 日

関係各位

公益財団法人日本サッカー協会

国際サッカー評議会(以下、IFAB)から 2020 年 5 月 8 日付回状第 19 号をもって「2019/20 および 2020/21 競技規則—第 3 条への暫定的改正」について通達がありました。通達自体の日本語訳は、下記のとおりです。

今回の通達は、世界中における新型コロナウイルスの感染拡大により、各国のサッカー競技会が中断、また開幕できない状況を余儀なくされている中、競技会の開幕および再開後、限られた期間で試合に臨むことになる選手の安全および適切な環境を確保するために、2020 年内に終了予定の競技会における交代の最大数について暫定的に改正したものであり、競技会主催者の判断によって適用することができます。

本通達について、各協会、連盟等において、加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知徹底を図られるようお願いいたします。

記

第 3 条への暫定的改正について

COVID-19 のパンデミックは、スポーツを含め世界中で日常生活に広範囲にわたる影響を及ぼした。多くの国がこの状況から抜け出し始め、ウイルスの影響を被ったサッカー競技会の再開に対して、徐々に焦点が向けられてきている。競技会が再開されるとき、試合は(例えば、次のシーズンへの影響を小さくするため)、期間を凝縮して、また、異なる気象の状況下で行われることもあり、これらは、選手の快適な環境確保に影響を及ぼすことになり得る。

これにより、国際サッカー評議会(IFAB)は、既に開始されているいないにかかわらず、**2020 年内に終了予定の競技会における交代の最大数に関する競技規則第 3 条—競技者への暫定的改正導入**(詳細については、3 ページを参照)に対する FIFA の要望を承認した。

この暫定改正を適用するかどうかについては、競技会の主催者の判断に委ねられる。IFAB と FIFA は、例えば、2021 年に完了することになる競技会について、延長して適用する必要があるかどうか、今後決定する。

公益財団法人 日本サッカー協会

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷 3-10-15) JFA ハウス
Tel.050-2018-1990 Fax.03-3830-2005
www.jfa.jp

第3条—競技者 — 暫定的改正

競技規則の文章は、この回状の3ページに示してあるが、概略は次のとおり。

- 各チームは最大5人の交代要員を用いることができる。
- 試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は各チーム最大3回とする。加えて、ハーフタイム時にも交代することができる。
- 両チームが同時に交代した場合は、各チームそれぞれ3回のうちの1回の交代回数を使ったとして数える。
- 試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越す。
- 競技会規定で、延長戦にさらに1人の交代要員の追加を認めているのであれば、各チームはもう1回の交代を行うことができる。加えて、交代は延長戦の始まる前、また延長戦のハーフタイムにおいても可能である。

(注)再交代の使用は、(現在、最大3人の交代が認められている)上位の競技会において用いることはない。

IFABはこの機会に、大会主催者が、第7条に規定する飲水タイムやクーリングブ레이크など、競技規則にある選手やその他の試合の参加者の快適な環境確保や安全に関する対応策について目を向けていただきたいと考える。

ビデオアシスタントレフェリー(VAR)が導入されている競技会は、競技会再開時に主催者の判断において、使用を中止することが認められる。しかしながら、VARが使用されるならば、競技規則のすべての観点、更には、VARの手順が、そのまま適用されることになる。なお、競技会はIFABの承認なく、第3条の暫定的改正の適用、また、現在使用可能な対応を行うことができる。

コロナウイルス(COVID-19)と2020/21 競技規則

2020/21 競技規則は、競技会(および競技会以外の試合)において、2020年6月1日に施行されることになるが、COVID-19によって中断されている競技会については、再開が2020年6月1日以降であっても、2019/20 競技規則を用いるのか2020/21 競技規則で競技会を終了させるのか選択することができる。競技会再開に備えて行う「親善、準備、または練習」試合については、競技会が再開するときに適用される競技規則を用いるべきである。

国際サッカー評議会
専務総長 ルーカス・ブラッド

第3条—競技者:交代の数

現在の文章:

2. 交代の数

公式競技会

交代要員の数は、公式競技会のいかなる試合でも最大で5人までとし、その数はFIFA、大陸連盟、または、各国サッカー協会が決定する。ただし、トップディビジョンにおけるクラブのトップチーム、あるいは各国の「A」代表チームが出場する男子および女子の競技会では、交代は最大で3人までとする。

暫定的な改正:

競技会の主催者は、次のいずれか、または、両方を適用することができる:

- 試合中、各チームは:
 - ・ 最大5人の交代要員を用いることができる。
 - ・ 最大3回の交代を行うことができる。(*)
 - ・ 加えて、ハーフタイムにも交代を行うことができる。

- 延長戦が行われるとき、各チームは:
 - ・ 加えて、さらに1人の交代要員を用いることができる(各チーム、既に最大数の交代要員を用いている、いないにかかわらず)。
 - ・ 加えて、さらに1回の交代を行うことができる(既に最大の交代回数を用いている、いないにかかわらず)。(*)
 - ・ 加えて、次の交代を行うことができる。
 - ・ 延長戦が始まる前
 - ・ 延長戦のハーフタイム

チームが最大の交代要員、交代の回数を用いていないのであれば、試合中に用いなかった交代要員、また、交代回数は延長戦に繰り越すことができる。

(*) 両チーム同時に交代を行ったならば、各チーム1回の交代の回数を用いたとして数えることになる。